

## 平成29年度東海防衛セミナー第2回を開催

3月12日、東海防衛支局は、名古屋商工会議所との共催で同商工会議所大ホール（名古屋市）において、「日本の安全・安心を考える～我が国の防衛生産・技術基盤～」を主題に平成29年度の第2回となる東海防衛セミナーを開催しました。昨年11月に開催した第1回のセミナーでは、弾道ミサイルへの対応を主題に、北朝鮮情勢やJアラートによる情報伝達を取り上げたところです。

セミナーは、東海防衛支局の倉内支局長と名古屋商工会議所の内川常務理事・事務局長の挨拶にはじまり、第1部では、防衛装備庁装備政策部の森装備政策課長が「防衛生産・技術基盤の維持・強化について」をテーマに、防衛装備品の高性能化に伴う調達単価等の増加や輸入品の割合の増加などの状況下、我が国の防衛産業の厳しい現状や防衛生産・技術基盤の維持・強化のための施策などについて講演を行いました。第2部では、AMシステムズ㈱代表取締役社長、南信州・飯田産業センター専務理事、多摩川精機㈱前代表取締役社長・副会長である萩本範文氏が「防衛産業とモノづくり～その歴史と未来～」をテーマに、ご自身の防衛産業における経験を踏まえ、防衛とも繋がりの深い航空機産業の振興による中部地域の活性化や日本の再生などについて講演を行いました。

参加者からは、「我が国の防衛と産業について考える良い機会になった」、「国と民間の現状を聞いて大変参考になった」などのお声をいただきました。

